

身近な課題に取り組みます！

●思井のオオタカを守ろう

市野谷の森のオオタカが、緑の伐採により思井の森に逃げ、その思井の森も開発計画でオオタカがすめなく無くなる可能性があります。自然環境と市の財政に取り返しのつかないダメージが生じる前に、野放図な開発計画を見直して、森と緑を子どもたちに伝えていくべきです。

●坂川を魚や蛙や昆虫がすめる川に

坂川の上流には水鳥が帰ってきています。しかしまだ、多くの魚や両生類や昆虫がすめる環境ではありません。川に中州を設けたり、兩岸に土の部分をつくるなどして、生き物が育つことのできる環境を回復させることが必要です。「坂川をビオトープに」を合い言葉に、市や国交省に働きかけます。

●三輪野山・南流山などの水害対策強化を

神明堀や三輪野山などの水害は市民の悩みの種。坂川周辺や調整池が必要な地域での浸水の不安は、ゲリラ豪雨が多発する近年、ぬぐい去れません。市街地の水が川などに排水されないで起きる内水浸水が深刻化しています。内水浸水マップの作成と周知、必要な工事の施工など、浸水被害の未然防止が求められています。

●渋滞解消と安全な生活道路を

流山8丁目の深刻な渋滞や生活道路への車の流入が、環境と歩行者の安全を脅かしています。三輪野山に予定されている江戸川新橋を、住民の声を真摯に受け止め、地域が納得できる橋としていく努力と合わせ、地域全体の道路行政の充実が求められています。また、バス路線の充実や自転車道の整備など、マイカーに頼らない交通政策を真剣に考えるべきです。



■阿部治正さんはこんな人



- 1954年 愛媛県今治市に生まれる
- 1975年 働く者の権利と労働条件向上のため労働組合作りに取り組む
- 1980年 障がい者の人たちの自立生活運動に参加
- 1996年 「川口委託ユニオン」の活動に参加
- 現在 「地域福祉を考える会」で福祉政策の研究、「九条の会・流山」「マブイ祭り」などで平和運動、「公共民間労組」OBとして活動
- 鯉ヶ崎団地自治会の副会長として地域活動に取り組む
- 趣味は絵画・音楽鑑賞。
好きな言葉は「ひとりは万人のため、万人はひとりのため」
- 流山市鯉ヶ崎在住

■地域に無くてはならない人

千葉県議会議員 小宮清子

阿部さんは、堅物に見えます。そのとおり、本当にまじめです。確かな批判の目を持ち、理路整然としている一方、常に地域の高齢者のくらしや介護を心配し、子どもや若者を思っています。

阿部さんなら必ず、市民の思いを汲み取ることでできる市議会議員になってくれると信じています。



■阿部治正さんを推薦します

(2011年1月21日現在)

日本労働組合総連合会千葉県連合会
連合野田・流山地域協議会
キッコーマン労働組合
京成電鉄労働組合
新京成交通労働組合
全建総連 建設ユニオン千葉支部
全建総連 千葉県連合会 西部建設ユニオン



徹底して住民の立場で
活動します

阿部はるまさ

さんがめざす重点政策

24時間・365日 安心の介護を

保育・医療の支援を強め 子育てに希望を

連絡先
〒270-0161 流山市鯉ヶ崎 1479-31
FAX 04-7140-7633
HP: www.abeharumasa.jp
Mail: abe@union.email.ne.jp

阿部はるまさ 検索



流山を福祉・環境・子育ての先進都市に

阿部治正
さんのめ
ざす政策

元気な地域経済と、市内格差を生まないT X沿線まちづくりを

●「住民が主人公」の市政を

- 市民が直接に意見を表明できるしくみを増やし、市民との議論を通したまちづくりを
- 自治会・市民団体などとの協働は、行政責任の放棄や住民への負担転嫁の道具とせず、住民自身のイニシアチブが発揮できる仕組みに
- ごまかしの「地方分権」でなく、権限と財源の移譲による「地域主権」を

●安心・安全、便利なまちを

- 震災と風水害の両方をみすえた万全の災害対策、江戸川の氾濫や坂川・神明堀・大堀川の浸水対策を
- グリーンバスの路線・便数の充実、流鉄のあらたな役割づくり、自転車道の整備など、どこに住んでも不便のない交通ネットワークを
- 犯罪の背景にある社会問題に目を向け、犯罪ゼロのまちを

●「福祉先進都市」流山を

- 介護保険の財源問題は、国と企業の負担で解決し、利用者・家族の立場に立った、社会全体で担う介護を
- 誰もが気軽に立ち寄れる福祉相談の場を増やし、相談の場の十分な人材確保を
- 市民やN P Oの先



駆的な活動を、福祉のまちづくりの力に

●子どもたちの瞳に輝きを



- 「子どもホットライン」の財源と人材を増やし、子育てサークルへの支援強化を
- 子どもを災害・犯罪から守るため学校施設の補修・

建て直しを迅速に

- 保育所・幼稚園・学童保育を充実させ、多様な家庭事情、病児・病後児・障がい児などのニーズに応える体制を

●緑あふれる憩いのまちを

- T X線関連の開発は、地域全体のバランスある発展、自然・住環境の維持、流山の独自の魅力を活かすことを大切に

- 「市野谷の森」などの緑の保全、「利根運河」「坂川」などの親水公園化をはじめ、歩いて行ける場に「憩いの場」を
- 大型施設など環境に大きな影響をあたえる計画は、市民の事前の同意を必要とする規制を



●地場産業支援で地域を元気に

- 地場産業や農業、医療・福祉・教育、N P Oや協同組合への支援を強め、経済活力あふれるまちづくりを
- 若者・高齢者・障がい者のしごと相談の充実、安定した雇用の確保で、格差と貧困の拡大に歯止めを



●行財政改革に市民の目線を

- 行政サービス切り捨てのための民間手法頼り、危機感無き漫然とした財政運営をとともにいましめ、財政の徹底した透明化を
- 行政施策の評価と順位づけを市民の視点で行い、住民の暮らし第一の行政運営を
- 入札は、価格だけでなく、働く人々の労働条件、障がい者の雇用率、男女平等参画の取り組み、自然環境への配慮などを含めた「公契約条例」制定で

●流山から平和の発信を

- 「平和都市宣言」にもとづき、憲法擁護・非核三原則・核兵器廃絶の運動を
- 平和へのとりくみを発展させるため、戦争協力を拒否できる「無防備地域条例」を

社会新報

号外流山版

1951年12月7日

社会民主党全国連合機関誌宣伝局
週刊（水曜日発行） 定価180円

2011年2月

第3種郵便物認可

千代田区永田町1-8-1 代表03(3580)1171